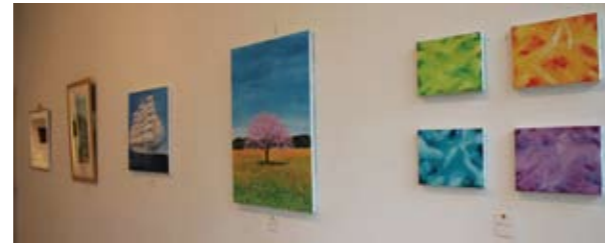


02 | 学内ギャラリーで展示した制作者の談話



6月27日(月)～7月8日(金)
「ハタチノ創造」
中林章史(美術専攻2年)

独自のテーマに沿った中で描いた絵が、みんなに少しでも感じ取ってもらいたいということで、本学でギャラリー展示をおこないました。



うまく絵が描けた達成感と、喜んでもらえること、見ていて感じが伝わるということが僕にとって何よりです。今後とも自分なりの創造と考え方をみつけながら努力していきたいと思います。



12月1日(木)～12月10日(土)
「うつす」
高本佳奈(美術専攻2年)

「絵は描いて終わりじゃなくて、人の目に触れてこそ意味をもってくるのかも」展示中に頂いたコメントを読みながら、そう思いました。初めての展示で、反省点多かったけど、見て下さった人の反応が新鮮で、刺



激になりました。次の作品に繋がる展示になったと思います。ありがとうございました。



12月12日(月)～12月21日(水)
「処女展」
東郷美佳(美術専攻2年)

今回の個展「処女展」をやって、本当に楽しい経験を得られました！
展示の仕方、絵のテーマについての追求の仕方、ポスターや個展名の与える影響、来る人の感想等、1人で黙々と描いた作品がこのような場でたくさんの人に見られるというのは不安もあったけどワクワクもあって、怖いけど楽しい不思議な思いをしました。またこのような展示をしたいなっていました！



1月10日(火)～1月17日(火)
「恥.hajimaru」
大畑大貴(美術専攻2年)
南雅喜(美術専攻2年)

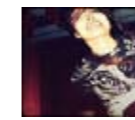
大畑大貴
今回の個展「恥.hajimaru」を通して自分の作品に対しての意見や感想を様々な学科の方にいただいて自分の作品の良い点と悪い点や作品に対する疑問と答えが見つかり自分自身を見つめ直すことができたと思います。また個展ができるチャンスがあれば新しいことに踏み込んだ作品を展示したいです。



南雅喜
大畑くんの作品を引き立てるBGM役として今回個展に参加させて頂きました。
絵画と映像は時に共鳴し、時に反発します。大畑くんの作品とは相性が良かったみたいです。とても貴重な経験になり、今後僕がやりたいことが明確化しました。見て下さった方、ありがとうございました。



1月18日(水)～1月24日(火)
「悠花と千穂」
岩田悠花(専攻科造形専攻1年)
吉栖千穂(専攻科造形専攻1年)



今回の展示では制作も同時に行いました。一週間という短い期間でしたが、普段とは違う空間で、今までできなかったような制作ができ、とても有意義な一週間でした。
一つの空間を作り上げる面白さや難しさを学びました。それと同時に今後の制作意欲が湧きました。私にとって今回の展示はとても良い機会でした。楽しかったです。



03 | 中国・江漢大学と「第1回美術作品合同展」を開催



本学と中国・江漢大学との間で2009年2月に相互交流協定を締結しました。両学の美術科の発展を促進すると同時に、両学間の交流を深めていくため、美術作品展を合同で、しかも各々の地で同時に開催しました。
第1回目の共通テーマは「融」とし、各大学で応募があった作品の中から30点ずつを優秀作品として選抜

大分県立芸術文化短期大学創立50周年記念事業として中国・江漢大学と「第1回美術作品合同展」を2011年4月6日～12日、iichiko 総合文化センター(大分市)で開催。



し作品のパネルを展示しました。これらの作品展示を通し、学術交流や学生交流はもとより、地域の方に大学についてより知ってもらう機会となりました。なお、第2回美術作品合同展は、美術作品を通してお互いの芸術文化を知ろうという意味を込めて共通テーマは「知」と決定。2012年4月にアートプラザ・アートホールで開催します。